



拝啓 月が冴えて美しい季節になりました、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、この度は、イラク人画家であり、現在もバグダッドでヘワール・アートギャラリーを主宰する「カーシム・サブティー氏招聘」にともなう賛同金のお願いでお手紙しました。

私たちは「イラクを知って友達になろう！」を合言葉に、イラクと日本の平和で友好的な関係の構築を目指し活動するNPO法人です。イラクの障がいを持つ子どもたちへの通学バス提供をはじめとする支援事業とともに、活動の柱としているのが、イラク現代美術の画家と、その作品を日本に紹介する事業です。

イラクは、けして平和が戻りつつある訳ではありません。イラク攻撃とその後の混乱により5年を経た今日でも出口が見えずにいる一方で、日本にいてイラクのことを知る機会はかなり少なくなってしまうました。

私たちは、苦しむイラクの人々に「平和と安定」をすぐに手渡すことはできませんが、「今も日本の私たちは、イラクの人々を忘れていない。イラクの人々と日本の私たちは友達なのだから。」と知らせてゆくことで、イラクの人々を勇気づけることができるのではないかと考えました。そのひとつが、今回の招聘企画です。

カーシム・サブティー氏は、戦禍にみまわれた本を使ったコラージュを作る画家（同封したチラシ裏面“不死鳥の物語”参照）であると同時に、この5年の絶望的状况においてもバグダードの地に踏みとどまり、停電の中ろうそくの灯りでギャラリーの営業を続けたという、イラク美術界きっての剛の者であり重鎮です。古代チグリス・ユーフラテス文明から現代に至る7千年の歴史と文化の厚みの中を生きる彼の旺盛な創造力からは、実に多くの学びを得ることができると思います。破壊から生命を見出した氏を招聘することにより、閉塞感漂う日本の私たちもまた、希望の光を見出せるのではないのでしょうか。

しかし、イラクへの一般的な関心も薄れてきた現在、小さなNPOである私たちピースオンの力だけでは、この企画を成功させることはできません。どうか皆様のご協力、ご協賛をお願いします。

賛同金は個人一口1000円、団体一口3000円で、何口でも大歓迎です（なるべく複数口をお願いします）。本趣旨にご賛同いただける場合は、別紙振込み用紙に必要事項をご記入の上郵便振込にてご送金くださいませ。

本来であれば、直接お願いに伺わなければなりません、まずは書中にて失礼致します。

敬具

NPO 法人 **PEACE ON** (ピースオン)

代表 相澤恭行 / 事務局長 香緒里

〒178-0064 東京都練馬区南大泉 3-13-19 コンパス・ポイント 105

tel.fax.03-6427-8583 <http://npopeaceon.org/>